

9月28日（月）朝礼にて 校長講話

今、4人の教育実習の先生方の自己紹介を聞いていて、何十年か前の自分の姿が頭をよぎりました。私の教員としてのスタートは、紛れもなく教育実習の時だったと思います。人にはそれぞれ節目という日があると思います。それぞれに大切な区切りとなる日があるものです。今日は、そんなお話をしようと思っています。

昨日のニュース、あるいは今朝の朝刊で見ている人も多いかと思いますが、9月27日は何の日か知っていますか。御嶽山が噴火して、大きな災害をもたらした日です。犠牲者となった方はもちろん、その家族や山を愛する人々にとっては特別な日となったと思います。

1月17日は分かりますか。みんなはまだ生まれていません。阪神淡路大震災が起きて、神戸を中心に大きな被害をもたらされた日です。

3月11日は分かりますか。これは、記憶にあると思います。東日本大震災があり、地震と、その後の津波や原子力発電所の事故による大きな被害があり、今なお、多くの方々が避難生活を送っています。

9月26日はどうですか。2日前です。東京で「9月26日を知っていますか」とインタビューしても多くの人は知らないと思います。大阪でもそうでしょう。名古屋でもそうかもしれません。でも、弥富の人に聞いたら必ず返ってきます。弥富中学校の皆さんには忘れて欲しくない日です。伊勢湾台風がこの地方を襲った日です。

ここに、分厚い、古くさい、カビのにおいがするような資料があります。学校沿革史と言います。先日、学校祭の開会式のあいさつの時に、50年前の生徒会長のお話をしましたが、そういったことも書かれています。ここからその時の様子を紹介したいと思います。

9月26日、伊勢湾台風来襲。1階は全部浸水。校庭東西全面崩壊、運動場使用不能。附属の建物全半壊。午後6時頃被災者数十名を収容し、その数1000名にもなる。1階全て床上に水浸し。理科室、工作室の被害甚大。

9月27日昨日の台風、被災者多数。本校の生徒にも6名の犠牲者を出す。本校も、平島、前ヶ須地区の収容場所となり、1070名収容。校長室は災害対策本部となる。

9月28日本日より、当分休校となる。

日常生活を送れる状態ではなくなりました。祖父江町や名古屋市、一宮市・小牧市など、少し高い地域に避難し、そこの学校に通った人たちもいたようです。学校が始まったのは12月21日「臨時休校ういていたのを打ち切り、開校式を行う」と記されています。

ニュースなどで、全国各地のあるいは世界の自然災害の様子が報道され、テレビやインターネットを通じてリアルタイムに知ることができます。それを他人事と捉えるのではなく、先日の鬼怒川が氾濫した時も、すぐに生徒会が立ち上がって、募金活動を行ってくれました。大きな災害を経験した弥中の子らしい素晴らしい対応、素晴らしい心だと思いません。

みんなが生まれるずいぶん前にこの地方が災害に襲われたとき全国の方から多くの手をさしのべてくれたと聞いています。そうした温かい心を忘れないで下さい。

先ほど、山端先生から「学校祭が終わって日常が戻ってきた」というお話がありましたが、日常が続くとは限りません。明日、壊れてしまうかもしれません。だからこその日常を大切に生きることが大切ではないでしょうか。そんなことを伝えたいと思います。